

日本版CCRC構想の基本コンセプト（案）

1. 東京圏をはじめ大都市の高齢者の地方移住の支援

東京圏をはじめ大都市の高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住むことを支援する。このため、移住者に対しきめ細かな支援（事前相談、お試し居住など）を展開する。

2. 「健康でアクティブな生活」の実現

高齢者が、健康づくりとともに、社会活動・生涯学習への参加等により、健康でアクティブ（活動的）に生活することを目指す（支援プログラムの提供）。

3. 「継続的なケア」の確保

医療・介護が必要となった時に、終末期まで尊厳ある生活が送れる「継続的なケア」の体制を確保する。

4. 地域社会（多世代）との共働

地域社会に溶け込み、子どもや若者など多世代との協働や地域貢献ができる環境を実現。

5. IT活用などによる効率的なサービス提供

ケア人材不足に対応し、IT活用や多様な人材の複合的なアプローチ、高齢者などの積極的な参加により、効率的なサービス提供を行う。

6. 居住者の参画・情報公開等による透明性の高い事業運営

事業運営において居住者の積極的な参画と情報公開等を通じて、高い透明性と安定性を確保する。

7. 関連制度や「地方創生特区」等の活用による政策支援

関連制度等のほか、「地方創生特区」や「地域再生計画」の活用による政策支援を検討。

日本版CCRCの制度イメージ（案）

地域の実情等に合わせて、多様な立地・住宅構造・サービス機能によるコミュニティを形成



